

横芝町の人口と世帯

<3月31日 現在>

常住人口 11,853 人
男 5,596 人
女 6,257 人
世帯数 2,803 戸

横芝

広報

事故絶滅対策に

町で交通指導員置く

七名を各地区へ

横芝町交通安全対策協議会では、郡内初の試みとして四月一日付で、次の各氏を交通指導員に委嘱しました。

横芝	小川清栄
桐谷	安
渡辺	功
萩原	次郎
横芝町は国道バイパスのほ	
か、県道、主要町道が縦横に	
走り、成東警察署管内でも交	
通事故多発地帯としてマーク	

屋形 伊藤文雄 安全協会 評議員
新島 林 豊子 安全協合理



<正装した町の交通指導員>

前列左から 伊藤文雄、助役、町長、桐谷安 後列左から 萩原次郎、小川清栄、小沢課長、渡辺功、円内は林豊子指導員

学校教職員の異動

上堺小の校長と教頭が更迭

新学期を迎えて学校教職員の異動がありました。目ぼしいところでは上堺小の校長大島先生が船橋市の新設校南本町小へ、同じく教頭麻生先生が睦岡小へ、須合先生が教頭として千代田小へ転出され、後任校長には睦岡小の鈴木先生が、教頭には芝山町岩山小から五木田先生が着任されました。また、横小と大総小を通して二十七年もの長い間教鞭をとられた古谷美江子先生が勇退されました。

各小、中学校の先生の異動

横中へ	佐瀬 宏(山武中)
秋葉	庸(千代田中)
行川	正子(新採用)
上小へ	鈴木 武(睦岡小)
〇五木田民夫(岩山小)	
勝本 俊子(松尾小)	
竹内 洋子(新採用)	
横小へ	布留川京子(東 中)
小野崎ミサオ(芝山小)	
石橋津な子(蓮沼小)	
伊藤由り子(睦岡小)	
▽石橋 俊江(東 中)	

大総小へ	鈴木てる(芝山中)
成田	ふさ(横芝小)
横芝中より	
成東町東中へ	佐瀬 正
九十九里町南中へ	
若杉	正和
山沢	広
退 職	
横芝小より	
蓮沼小へ	今関千恵子
成東町東中へ	▽川島 敬治
退 職	蔵 暁子
上堺小より	
船橋市南本町小へ	
〇大島林之助	
睦岡小へ	〇麻生 文弥
千代田小へ	〇須合 茂治
大富小へ	秋葉 麗子
大総小より	
豊岡小へ	大木 正子
睦岡小へ	▽須合喜美代
退 職	古谷美江子

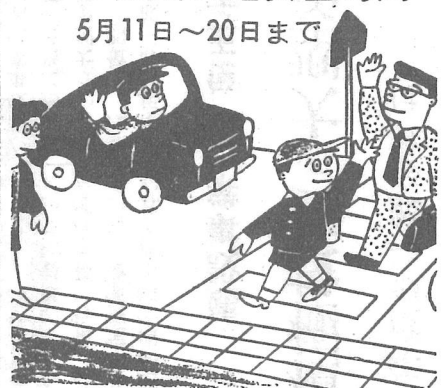
されており、小、中学校生徒の通学は、これら主要道路を通行し、横断して危険にさらされる場面が多い現状から、児童生徒はもとより一般住民を交通禍から守るための一手段として、成東警察署と協議の結果、町自体の交通指導員を置くこととしたものです。

前記各指導員は渡辺指導員を首領として成東署の浜田交通係長から指導心得と法規の講習を受け、新入生の通学が始まった四月五日から、主要通学路に立って交通指導を行いました。

これからは交通安全の日(毎月十日)や安全週間などには、よくその職能を発揮されることと思いますが、これによって今後横芝町は交通事故を返上できるものと期待され、絶滅への成果を挙げ、有りがたくなります。

春の全国交通安全旬間

5月11日～20日まで



急停車されてもよい距離よい速度
親がまず手本を示そう正しい横断

消防長官から

表彰旗授与さる

横芝中少年消防隊

横芝中学校少年消防隊が消防長官から表彰されました。去る三月二十七日東京霞ヶ関の人事院ビルで、全国優良少年消防クラブの表彰式が行なわれましたが、横芝中学校少年消防隊が成績優秀であるというので受賞が決まり、市原消防団長、土屋中学校長及び消防隊代表生徒らが出席して、次のような表彰状を受領しました。

表彰状
千葉県
横芝中学校少年消防隊
少年消防クラブ運動の趣旨を
昭和四十四年三月二十七日
全国少年消防クラブ
運営指導協議会長
消防長官 佐久間 強
横中の少年消防隊は、昭和
三十五年一月結成されたもの
で、現在隊員数男女生徒あわ
せて六十三名、校長が本部団
長となつて避難隊、消火隊、
運搬隊、救護隊を編成し、火

議会だより

横中プール工事契約 など三議案を可決

昭和四十四年四月十六日
告示、同四月十九日招集の
臨時議会は同日午後二時開
会。

▼議案第一号 横芝町税条
例の一部改正（納税証明書
交付手数料を一件五〇円に
改め、身障者、老年者、寡
婦等の町民税非課税の範囲
を前年の所得額三〇万円ま

でとし、その他字
句、条項を整理す
るもの）

▼議案第二号 工
事請負契約の締結
について（横芝中
学校のプール建設
工事を一、一〇〇万円で推
名組と請負契約するもの）

▼議案第三号 財産処分
について（町有財産北清水の
山林二九、一四一平方メートル、
八、八一五坪）を、葛飾仲
鉄所に坪当り三、九〇〇円
で売却するもの）

以上三議案について審議
し原案通り可決しました。

災予防思想の普及、学校火災
の予防、避難、誘導、救護、
消火などの訓練を実施してい
ます。

毎年消防出初式に、町の消
防団に混じって元氣いっぱい
の豆消防士が、キビキビした
動作で参加しているのを皆さ
んは見かけたことと思いま
すが、まことに頼もしい感じ
を与えます。

なお同少年消防隊は昨年の
初出式の日にも県消防協会山
支部長の功労章を授与されて
います。



△写真は晴れの表彰旗を受領
した横中少年消防隊代表と
引率者△

総務員芳名簿

（〇印は特別総務員）

大総地区
木戸台
町原 菅沢 一
小堤 伊藤 辰男
寺方一 伊藤貞二郎

寺方二	瀬理 浩	両国	井上 敏夫	上埒地区	伊藤 章
會根合	浅野 好一	東町	小川 敏夫	屋形	〇伊藤 利雄
於田幾	神保 重男	一	大木 豊	〇南	海保 利之
坂立	河野 恒久	二	椎名 新	〇宮前	海保 良之
長倉	柳橋 保	三	田中 孫作	〇荒場	早川 利夫
姥山	伊藤 喜一	四	石川 幸次郎	〇三本松	浅野 一郎
遠山	伊藤 正	〇若梅	若梅 宇一	〇立会一	海保 房治
中台	橋川 隆	〇杉持	杉持 芳司	〇立会二	渡辺 勲夫
谷台	勝又 祥夫	〇秋葉	秋葉 功	〇南川岸一	海保 寿夫
生熊	宇井 武雄	〇鶴沢	鶴沢 竹夫	〇南川岸二	菅 行雄
横芝地区	〇久保田貞雄	〇四ノ二	田村 辰蔵	〇新島	〇伊藤 八郎
上町	大矢 米吉	〇東部	古川 美好	〇道貫	伊藤 稔
〇	植村 達	〇仲和会	勝保 豊	〇新田	伊藤 冲
〇	高橋徳次郎	〇青芝会	中村孫三郎	〇本郷	川島 六郎
〇	越川福三郎	〇東ヶ丘	下村 健次	〇荒場	川野 久雄
〇	水巻 重治	〇宮脇	清水 勘治	〇三島	石橋 一
〇	真行寺誠治	〇TCC社宅	山賀 諭	〇北清水	〇川島 孝
〇	真行寺多仲	〇南部一	安平 忠男	〇入間	椎名 茂喜
〇	吉岡 正雄	〇南部二	長船 重喜	〇三軒家	川島 信二
〇	泉根 健二	〇鳥喰新田	高橋 好孝	〇関場	渡辺 正雄
〇	大沢 順司	〇上	印東 巖	〇新青	川島 健利
〇	伊藤己之助	〇沼下	市原 一郎	〇東	齊藤 秀雄
〇		〇沼下	鈴木 良一	〇東	

叙 勲

故市原利清氏は生前の功勞
により、勲六等単光旭日章を
授けられました。

表 彰

町老人ホームの本間重寿院
長は三十年勤続の功績により
二月十二日、山武郡町村長会
長桜井正伸氏の表彰状を授与
されました。

役場職員の変動

四月一日付で役場職員に次
の異動がありました。

配置換え

企画課副主査川島義之（
住民課）▼収入役室主事押
尾法子（総務課）▼総務課
主事青柳教子（収入役室）
▼教育委員会職員小川佳子
（税務課）▼給食センター
調理員小関きみ（大総保育
所）▼全事務職員林豊子（

〇小川 敏夫	〇井上 敏夫	〇伊藤 章
大木 豊	〇南	海保 利之
椎名 新	〇宮前	海保 良之
田中 孫作	〇荒場	早川 利夫
石川 幸次郎	〇三本松	浅野 一郎
〇若梅 宇一	〇立会一	海保 房治
杉持 芳司	〇立会二	渡辺 勲夫
秋葉 功	〇南川岸一	海保 寿夫
鶴沢 竹夫	〇南川岸二	菅 行雄
田村 辰蔵	〇新島	〇伊藤 八郎
古川 美好	〇道貫	伊藤 稔
勝保 豊	〇新田	伊藤 冲
中村孫三郎	〇本郷	川島 六郎
下村 健次	〇荒場	川野 久雄
清水 勘治	〇三島	石橋 一
山賀 諭	〇北清水	〇川島 孝
安平 忠男	〇入間	椎名 茂喜
長船 重喜	〇三軒家	川島 信二
高橋 好孝	〇関場	渡辺 正雄
印東 巖	〇新青	川島 健利
市原 一郎	〇東	齊藤 秀雄
鈴木 良一	〇東	

新規採用

企画課）▼大総小事務職員
萩原綾子（給食センター）
▼総務課主事補布施泰子▼
税務課主事補 木俊郎▼産
業課主事補小関みづ子▼大
総保育所保母本橋和代▼老
人ホーム用務員伊藤俊子
退職（三月三十一日付）
▼総務課主幹小山俊海▼企
画課嘱託伊藤俊▼教育委員
会事務職員大木みづ▼給食
センター調理員鈴木政子

昭和44年度横芝町当初予算

(単位千円)

会計別	本年度予算額	前年度当初予算額	増減
一般会計	342,962	243,603	99,359
国民健康保険特別会計	78,666	75,481	3,185
有線放送電話特別会計	11,237	10,686	551
老人ホーム特別会計	11,092	10,267	825
計	443,957	340,037	103,920

昭和44年度横芝町一般会計予算款別表

【歳入】

(単位千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1.町税	73,476	60,337	13,139
2.自動車取得税交付金	6,000	10	5,990
3.地方交付税	97,000	75,000	22,000
4.交通安全対策特別交付金	250	10	240
5.分担金及負担金	7,224	4,815	2,409
6.使用料及手数料	1,838	1,659	179
7.国庫支出金	33,669	21,419	12,250
8.県支出金	16,813	10,230	6,583
9.財産収入	42,270	38,053	4,217
10.寄付金	4,814	7,823	△ 3,009
11.繰入金	1	1	0
12.繰越金	10,000	7,433	2,567
13.諸収入	8,607	7,313	1,294
14.町債	41,000	9,500	31,500
歳入合計	342,962	243,603	99,359

【歳出】

(単位千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	本年度予算額の財源内訳			
				特定国県支出金	地方債	その他	一般財源
1.議会費	4,905	4,212	693				4,905
2.総務費	67,701	40,225	27,476	1,574	5,000	674	60,453
3.民生費	38,769	33,834	4,935	11,763	2,500	8,749	15,757
4.衛生費	16,792	13,627	3,165	1,149		1,010	14,633
5.農林水産業費	30,222	25,923	4,299	13,294		2,223	14,705
6.商工費	6,276	5,373	903			3,040	3,236
7.土木費	60,867	21,969	38,898	7,872	8,200	1,906	42,889
8.消防費	10,433	9,651	782	60		3,991	6,382
9.教育費	88,814	36,222	52,592	13,505	25,000		50,309
10.公債費	12,182	12,817	△ 635	1,265		330	10,587
11.諸支出金	4,501	38,750	△ 34,249				4,501
12.予備費	1,500	1,000	500				1,500
歳出合計	342,962	243,603	99,359	50,482	40,700	21,923	229,857

新年度の一般会計は 積極投資の大型予算

建設事業に一億五千万円

町の昭和四十四年度予算が去る三月の定例議会において議決され、執行に移されておりますが、その概要についてお知らせします。

町は、本年度の一般会計予算の総額は、三億四、二九六万二千円という大型予算で、うち約四五%に当る一億五千万円余が建設事業にあてられ、積極

的な投資型予算となっており、歳出予算の骨子は、町長の年頭の所信でも明らかにされたとおり、重点施策である道路整備を中心に、教育施設の充実、産業の振興、住民福祉の向上という四本の柱を軸として積極的に編成され、懸念の事業を多く盛りこんでおります。この事業別内容については、本紙四月号でご紹介したところでありますが、土

木、教育費の大幅な増嵩から、積極的な投資型予算となっており、もこれらの施策に対する積極的な姿勢がうかがえます。

一方、歳入においては、地方交付税、町税の増収が見込まれ、財政運営上好結果をもたらしておりますが、本年はさらに町有地売却に伴う財産収入四、二〇〇万円も見込まれ、事業の推進に貴重な財源となっております。

各特別会計については、本年は特別な変動はなく、経常的な予算編成となっております。

東南アジア視察記 (二)

町会議員 渡辺 喜久雄

十七階建の議事堂

十七日マレーシアのクワラルンプールに着、酷暑の中を黒人ガイドの案内で市中見物をしました。当地の産物はゴムと錫であるとのこと、或る大ゴム園を見物しました。次いで国立大学に行きましたが、その学生は大部分がオートバイで通学しており、その車種は日本のホンダと鈴木の製品が多いように見えました。更に国会議事堂と議員宿舎を見物しましたが、両建物とも十七階建の豪壮なものでした。一日の予定を終えてホテルに着いたとき、暑さのため五人程病人が出ましたので、医者をお願いしたところ、その診療費の高いこと、一人当り五、六千円もとられ驚ろきました。

青年議員と交歓

十八日国会の見学。折りよく開会中で、傍聴することができました。議員定数は百四十三名、審議中の議員は四十名位。ユツクリのんびりと審議が進められていました。

此処で文部大臣と国会議員数名と面接したあと、独立記念塔の前で昭和八年生れの現地議員と吾々一行との交歓が



(上) クワラルンプール独立記念塔前で青年市会議員に囲まれて交歓する渡辺議員 (左から二人目)

(下) パリ島の海浜風景



の中国人の都市で、住民の大部分が華僑とマラヤ人で市人口の七十六%以上が中国人であるといわれています。ここは東南亜旅行者の基地と呼ばれており、私たちもここを足だまりとしてインドネシア、バリ島を訪問して台湾へ飛ぶことになりました。

る同胞の霊に深く深く頭を垂れたのであります。

日本女性のガイド

十九日シンガポールに着。空港で知事さんへの土産に極楽鳥の刺繍を買求め、観光バスで市内見物をしました。パスガイドが思いもかけない柳和子さんという日本女性であつたのと、

行われ、お互いの将来を期待しあつて堅い握手を交わし、記念撮影をして別れました。言葉こそ違え同じアジアの青年議員同志として血の通い合うのを感じました。ここ、クワラルンプールは日本の箱根のような所で、緑の芝生、深い谷、ほんとうに鮮やかな色彩の土地でした。この地にある日本人墓地に吾々一行は詣で、異境に眠

その親切な接待を受けたのでひとしお感銘を深くしました。そのせいでもあるまいが、一行はここで一斉に

郷里への便りを書き初めました。

シンガポールは一九五七年八月、英連邦の一員として独立した国で、熱帯に位置し一年を通じて気温の変化は少なく、二十度から三十一度までの間を上下しているとのこと。

シンガポール市は世界最大

戦争賠償金でホテル

インドネシアの空港に着いたのは夕方でした。日本内務省の検査は厳重を極め、銃を構えた警備員の前で入国の検査を受けました。宿舎ホテルインドネシアに案内されましたが、十五階建の豪壮な建物で、これは日本の戦争賠償金で建設された国営のホテルであると聞かされました。

経済面を牛耳る華僑

翌日はバリ島訪問。ここはアジアのハワイと呼ばれる観光地、世界各地からの観光客で賑わうところで、ヤシ林の中に海に面して建てられたビーチホテルのモダンな建物が印象的でした。

次いでインドネシアの中学校を訪問しました。校舎は旧日本軍のブラック兵舎のような建物でしたが、生徒たちは皆熱心に勉強していました。この国では義務教育を施行しているそうですが、就学率が六〇%位の低さでその大部分は農業その他貧困家庭の子が多いとのことでした。

市長や町村長などお偉がた七、八名から国土開発計画の説明を聴きましたが、市長も町村長もみな軍人の階級章をつけており、軍政下にあるような感じを受けました。その夜ホテルで旅行中の木村行政庁長官と会合し、一時間程懇談をしました。

県警察官を募集

県では目下、警察官の募集を行っています。

採用人員は約一五〇名。受験資格は、昭和十六年七月二日から同二十六年十月一日までに生れた男子で、高等学校卒業程度以上の学力のある者、体格は身長一米六〇センチ以上、体重四八キログラム以上となっています。

受験の受付けは昭和四十四年四月一日から同八月二十日までです。

試験日は五月から八月まで各月の第三水曜日で、県警察学校が試験場になっており、大学卒業者がA試験、その他の者がB試験を受けることになっています。

なお詳細については県警察本部、警察署または派出所にお問い合せ下さい。

土地宝典を新に刊行

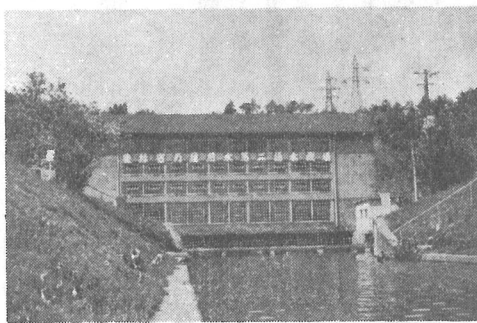
地区別に分冊して

昭和初期に発行された町の土地宝典は、その後区画整理や宅地造成その他で多くの異動があり、現状とそぐわない点が沢山あって不便を感じていましたところ、今回新しく土地宝典は、その後区画整理、地番、地目、地積などを入れ、二千四百分の一のものをも動があり、現状とそぐわない点が沢山あって不便を感じていましたところ、今回新しく土地宝典は、その後区画整理、地番、地目、地積などを入れ、二千四百分の一のものをも動があり、現状とそぐわない点が沢山あって不便を感じていましたところ、今回新しく

ふる里の散歩みち (その一)

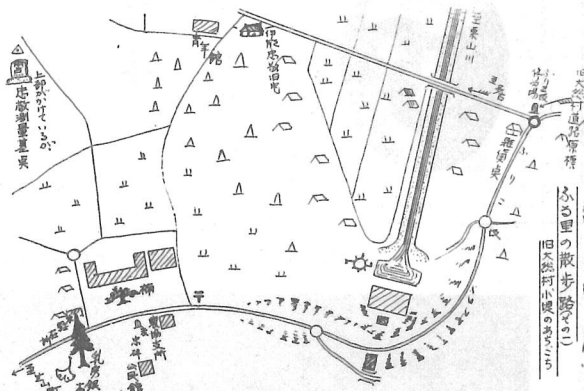
旧大総村町原・小堤

暫らく御馴みをいたしておりました「ふる里の話題」は本号からいままでの伝説史実を中心にした「ふる里の散歩路」を掲載することになりました。遠来の客の案内、御家族連の散策に御利用いただければ幸いです。



小堤の振子坂下にある農林省両総用水第二揚水機場

横芝駅から千葉交通の多古行で約十五分、振子坂という停留場で下車すると、すぐ前に石橋があり、大総橋と刻んである。この下を流れているのは両総用水路である。橋の上から左の方を眺めると丘の中腹に揚水機場の建物が見えこの流れを吸込んでいる。橋の手前から流沿いに揚水機場を訪れ



て、若し係員が居たならば此の揚水能力等を聞くのもよい。都合がよければ内部の見学も許される。建物の後には石段がありこれを昇るとサイフオンの取入口がある。ここは展望台のようになっていて遠く下総の台地までも一望

こん度の宝典は横芝地区、上堀地区、大総地区の三つに分冊して発行し、価格は一冊六千円(市販はしない)で、発行者の帝国地図が、役場税務課で予約申込みを受け付けますが、役場での受付けは五月二十日までとなっています。この五月から逐次一冊づつ完成したものから発行して、現品と引換えに代金を支払っていただくことになっています。

すので、予約金は納める必要ありません。そのうちに発行者の係員が見本を持って註文とりにうかがうと言ってまいりますし、役場税務課にも八日市場市の土地宝典が見本として置いてありますのでご覧になれます。なお希望者があまり少ないと発行を中止する場合もあるとのことですからお含みおき下さい。



△明治、大正、昭和と開校以来、生徒を送り迎えて来た大総小学校庭の桜の老樹

に集まり定規を当てたように区画された大総の耕地を真二つに割って、溝々と用水をたまたえた水路が特に美しい。一息入れたら、いま来た水路を戻り、途中から堤の中腹伝いに県道に上ると相当急な坂道で、これがいわゆる振子坂である。ぐるりと揚水機場を巻き込むように県道を迂回し、丁度機場の真上に出ると此の道路の下がサイフオン通過ルートになっ

が辺りを暗くしている。この辺りは高台なので井戸は物凄く深く、それだけに冷たい味は素的である。駐在所の横を小学校の垣根伝いに右折し小暗い森の小径を抜けると畑が見えてその向うに杉や松の梢がこの中から頭を出して此々が高台であることをよく示し山里の感が深い。畑の小径が右へ下り坂になり再び林に入る。

此の辺りの林には、天皇陛下が皇居内に栽培されているので有名な熊谷草の群生地がある。時間があれば探訪するとよい。しかし、家の庭に移植してもまず九九%は根付かないので掘取る事は止めた方が賢明である。この坂を降り過ぎて青年館前の田圃を通りバスから降りた県道の続きである。

途中の畑を左に行けば伊能忠敬が日本全国測量の基点としたと伝えられる日吉台がある。県道を右に行けば元の大総橋に帰れる。途中伊能忠敬が十一才から十八才まで過したという神保家を訪れるのもよからう。

用水路伝いに栗山川までの散策、また用水路や栗山川に釣糸を垂れる用意があればまた興は倍加されよう。元気な人達ならば栗山川堤防伝いに横芝駅に出れば結構一日の行楽地として楽しめる。

畜産団地センター

広報車が巡回指導

横芝、松尾、二川、南郷の四農業協同組合が合同して、山武畜産団地連合センターを設置しました。

取りあえず二川農協に事務所を置いて業務を開始しましたが、発足と同時に半額県費補助によって広報車四台を購入し各農協に配属しました。

この車は広報や連絡の業務遂行をたてまえていて、いますぐ、そのほかにこのセンターの事業である家畜の飼育、衛生管理等の指導助言をするため、内山獣医師を専属指導員に委嘱し、日を定めて町内を巡回（横芝町は金曜日）し、直接家畜飼育農家の相談や指導に当り、畜産事業の発展向上に役立てようというものです。

（写真は農協に配属された広報車）



気をつけましょう 伝染病や食中毒



「食べ物による事故をなくそう」ということは県民の願いであり、一般の方々はもちろん、食品を取扱う業者の方も次の点に注意して事故を起さないよう気をつけましょう。

○家庭の台所や飲食店の調理場、製造所、食品倉庫などの整頓と清潔に努める

○ネズミ、ハエ、ゴキブリ等の衛生害虫の駆除と薬品の保管取扱いに気をつける

○爪を短く切り、石けんでよく手を洗う

○食器、庖丁、まな板などはよく洗い、消毒する

○作ってから日のたった食べ物は惜しまず捨てる

○冷蔵庫を過信しないこと

○生ものより火を通した食べ物の方が安全、煮直ししても過信しないこと

○折詰めや弁当は特に調製に気をつける。詰合わせるときは冷したものをを使う

○下痢、発熱その他、体に変調のあったときは、早く医師に診てもらおうこと

○鮮度の高いものを選び、調理や取扱いに注意する

○水は保健所で検査してもらい、安全を確かめましょう

○伝染病や食中毒は気温が上がり、湿度が高まるこれからの時期が最も多くなります。

於幾老人クのすさび

各部落に結成された老人クラブは、現在二十六にもなりました。そして皆それぞれに修養に、保健方法の勉強に、社会奉仕に、リクリエーションに、と活動しておられます。

於幾クラブの方がたは風流の道、俳諧の句作に精進しているというところで、お年よりのすさびとして打ってつけと思われまふ。寄せられた作句はいずれ優秀をつけがたい。その幾つかを紹介しましょう。

たくわんの石の重たく春寒
お祝のある家の庭梅の咲く
吉 田 実川ツ子

農業労働賃きまる

農業労働賃金の標準額が、郡内農業委員長会議で次のように決定しました。

	男	女
田 植	1,550円	1,550円
水 除 草	1,250	1,200
稲 刈	1,550	1,550
畑 作 業	1,250	1,200
果 樹 収 穫	1,150	1,150
水田耕起及び代かき (10a)	1,550	
機械刈取 (10a)	2,900	

（注）8時間労働で昼食つき

横芝俳壇

横芝句会四月例会作品抄

成東 飯高 きみ
友と逢う木瓜咲く庭の垣根越しに
木瓜ひとそと暮れ行く庭を掃きいたり
鳥沼 高埜 孝子
春霞む桜並木に暮れる愛
木瓜ひとそと花開きし今朝の春
春灯の連なり沼面まばゆきて
つかぬまの木瓜明るさをとり戻し
栗山 田島 千女
春の蝶花粉にかわいいしり立

首のまく手拭今朝の余寒かな
実川喜昌
屋敷跡氏神のこして梅の咲く
千 代
春心また崩れたる余寒かな
多 代
四温去り農家の広く余寒かな
文 雄
芝焼きの煙やはらかに鳥の飛ぶ
渡 辺
春の寒薄着で出かけ愚痴る人
つ ね
空澄んで清く美し梅の花
伊藤まさ
春の寒めばえしきのこひからびし
桜井ゆき
お茶ごとのガラスの外の余寒かな
子安はつ
春寒し未明の新家見上げつ
実川ます

春の海流してむなし砂の文字
栗山 若梅あやめ
灯を背におぼろの月や物想う
結納の話チラホラ木瓜盛り
清水 川島 松露
虫引いて蟻が下行く木瓜の花糸引いてたれる虫あり木瓜の花
清水 齊藤ちくろ
紅白木瓜生けて客待つ身のしまり
湯上りの刺青光る春灯の夫婦
清水 伊藤美佐子
花木瓜にちやばはばたきてあたたかし
去り行く人に木瓜の花た白きかな
古川 藤代 ゆう
ことごとと部屋に遊ぶ子木瓜の雨
春燈やもの言いたげな童子の像
東中 川島 啓明
春灯茶の冷え伝染するあくび
木瓜真紅わき出る調子はずれの唱
横小 古内 青人
木瓜の花薔めき白い別れが来る
待ち侘びる眼となる駅頭春灯
秘めいる記憶いま青麦の耀きて
横小 高品 虎洞
桃咲いて稜線が意識のものと
なる

五月例会のお知らせ

○五月十七日午後一時半
○田植その他当季雑
○横芝小応接室に於て